教育目標「たくましい子」　重点目標「思いやりのある子」
研修テーマ「自己肯定感を高め、豊かな感性と表現力を育む
~みんなで「聴いて」「見て」「考える」子を目指して~」

ぽっかぽか

R8. 6. 29
園長だより　NO.2
富士市立天間幼稚園

天間幼稚園が昨年度から取り組んでいることってどんなこと？

常葉大学保育学部准教授　赤塚めぐみ氏が研究リーダーとなり、静岡県幼児教育センターが進めている「Springプロジェクト」の中の遊びプログラムを参考に、ことば遊びをしています。

いきなりひらがなを「読む」「書く」ことを教えるのではなく、
こどもたちが、「話しことば」から「文字」へと自然になじんでいくための基礎を培う遊びです。

例えば…

音韻操作

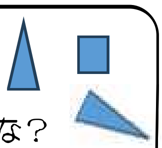
「かに」は「２文字」だね。「かに」の頭の音は「か」だね。「かに」から「か」を消すと残りは「に」だね。
「２文字のことば探しをしよう！」

聴覚記憶

先生の言ったことを真似っこしてみてね。
「2，3」「2，3，9，6…」「くまる」

視空間認知

同じ形はどれかな？
同じ形を真似て描いてみてね。
こんな動き、真似っこできるかな？



基本語彙

動物園にいるのは？「さる」「らいおん」
雨の音ってどんな音？「ポツポツ」「ザーザー」
「おおきい」の反対は？「ちいさい」

これらは、ほんの一例です。

楽しく遊ぶ中で、ひらがなを読んだり、書いたりするための準備につながる４つの力がつくように、いろいろな遊びを考えて取り入れています。このような遊びを楽しめるようになるには、リズムにのって体を柔軟に動かしたり、話を注意深く聴いたりする力も必要になってきます。たくさんの遊びの中で、今「育っている力は何か」「何を伸ばしていきたいか」を明確にして、「遊び＝学び」を考えています。もちろん、楽しくなくては遊びじゃないっ！！
　ので、楽しい！またやりたい！の気持ちがいっぱい出てくるような遊びを考え中です！

「読みことば」から「書きことば」への移行がスムーズに進めば、幼稚園から小学校へ、滑らかな接続ができ、学習に不安を持ったり、つまづいたりすることが少なくなるのではないか…という考えからこのプロジェクトは進んでいます。

繰り返し遊ぶ中で、たくさんの学びの芽が育つことを私たちも楽しみにしています。

こんなこと、こんなことできますか？（視空間認知）

落ちた、落ちた、何が落ちた（聴覚記憶、基本語彙）